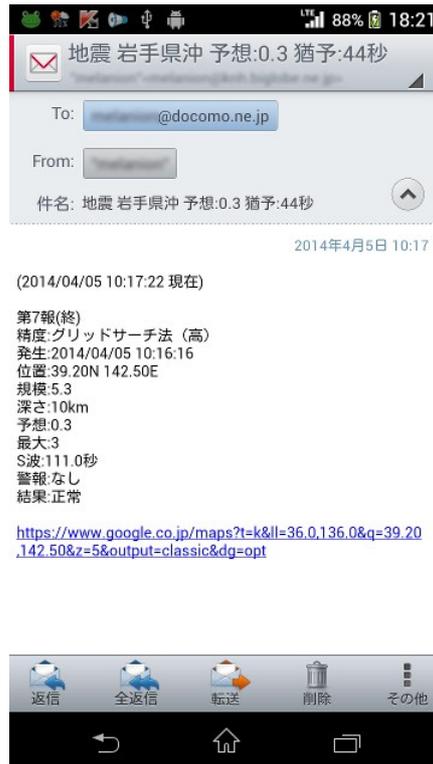


EqMail の使い方

受信例

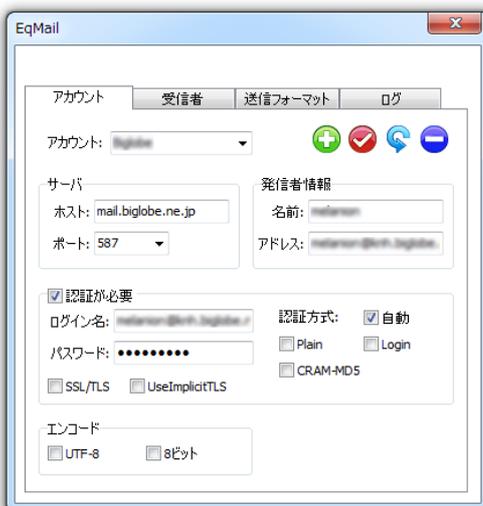


インストールする

EqMail をダウンロードしたら、EqMail.exe を EqWatch フォルダにコピーして、EqMail 単独で設定を行います。

EqMail での設定

アカウントを設定する



1. [新規作成] ボタン  をクリックします。
2. アカウントの名前を適当に指定します。
3. ISP などの SMTP サーバの「ホスト」「ポート」を入力します。
ポート番号は、SSL 使用のときは 465、使用しないときは 587 が一般的です。
4. 発信者情報を必ず入力してください。一部の SMTP サー

バで返信アドレスがチェックされることがありますから、正しいアドレスを入力してください。

5. 「認証が必要」をチェックします。

LAN 内の SMTP サーバ以外は、通常、メール送信でも認証が必要です。

6. ISP などから知らされた「ログイン名」および「パスワード」を入力します。

7. 認証方式は、通常は「自動」でかまいません。

8. SSL の使用が指定されている場合、「SSL/TLS」をチェックします。現在ではほとんど使われていませんが、TLS を静的に利用するタイプの SMTP の場合、「UseImplicitTLS」をチェックします。

9. エンコードはとくに指定する必要はありません。iso-2022-jp/7bit でエンコードして送信します。

重要 アカウントの内容を変更後、必ず [更新] ボタン  をクリックして、設定した内容を更新（確定）してください。更新された設定項目のみ、終了時に Ini ファイルに保存されます。

受信者を設定する

EqWatch が送信したメールを受信するアドレスを設定します。

1. 「アドレス」ボックスにアドレスを入力し、[追加] ボタンをクリックすると、「受信者リスト」にアドレスが追加されます。
2. 追加したアドレスを削除するときは、[削除] ボタンをクリックします。
3. 一時的に受信者リストに含めないときは、該当するアドレスのチェックを外します。
4. 送信に使うアカウントと同じアドレスに送信しないようにするときは、「送信者と同じアドレスは除外して送信する」をチェックします。

送信テストを試みる

送信のための SMTP サーバの設定と受信者の設定が終わったので、実際に送信のテストをします。

1. 「送信テスト」ボックスの「件名」と「本文」に適切な文章を入力し、[送信] ボタンをクリックします。
2. 実際に着信したかどうか確かめます。
3. 着信がうまく出来てない場合、アカウントの設定の見直し、受信者アドレスのチェックをします。

「パスワード」ボックスをダブルクリックすると、パスワードが平文で表示されます。

4. 必要であれば、「通信ログをファイルに残す」をチェックし、ログ「SendMail.log」の内容を検査します。

重要 トラブルが発生してログを作者にメールしたり、掲示板に投稿する場合、通信ログの中には簡単に復号化できるパスワードなどの情報が含まれてることに注意してください。

無意味な文字列は必ず「*」などで伏字にしてください。

送信フォーマットを設定する

メールの件名と本文のフォーマットを指定します。



1. 「件名フォーマット」ボックスの「通常時の見出し」に受信時に他のメールと容易に区別できるように適切な文章を入力します。
2. 件名に「見出し」で指定したこと以外の情報を付加するときは、含めたい項目を「選択可能な項目」ボックスで選択し、[追加] ボタンをクリックして「選択された項目」に移動させます。
3. 「本文フォーマット」ボックスでも、同様にメール本文に含めたい情報を「選択された項目」ボックスに移動させます。
4. その他、受信時に震源地図を参照したい場合、「震源地図 URL」をチェックします。
震源にマーカを置いた Google マップの地図 URL が本文に挿入されます。

送信フォーマットをテストする

送信フォーマットを設定したら、地震速報をシミュレートして、具体的にどのようなメールが送信されるかを事前に確認することができます。

1. [受信者] タブの [simulation] ボタンをクリックします。
2. シミュレートする地震の規模を通常よりも小さいものにするときは、「予想震度：低」をチェックします。
これを選択すると、マグニチュード、震源の深さ、震央までの距離が調整され、現在地の予想震度が低目に出ます（予想震度と到達時間はこれらの要素を使って実際に計算しています）。
3. 実際にメール送信しないで、EqMail ウィンドウの [ログ] タブに表示するだけの場合、「ログに「送信」」ボックスチェックします。
重要 シミュレーションが終わったら、必ず「ログに「送信」」のチェックを外してください。本番の緊急地震速報もメール送信されず、ログに記録されるだけになります。
4. [開始] ボタンをクリックして、シミュレーションを開始します。

以上で EqMail 側での設定は終わります。

重要

設定が終わったら、EqMail を必ず終了させてください。

EqMail の起動と終了は EqWatch が行います。EqWatch の起動時にすでに EqMail が起動されていると、EqWatch と通信できる EqMail が起動できなくなります。

EqWatch での設定

EqWatch で緊急地震速報のメール送信の設定を行います。

速報受信時にメール送信する

EqMail: 

Caption:

1. 「設定」ウィンドウの「アドオン」タブを開きます。
2. 「EqMail」ボックスの「フォルダ」アイコンを使って、実行ファイル EqMail.exe を

選択します。

EqMail の実行ファイルは EqWatch フォルダ以外にも置くことができ、ここで指定します。ただし、別のフォルダに置くときは、EqWatch フォルダ内の SSL ライブラリ (ssleay32.dll と libeay32.dll) を必ず EqMail フォルダにコピーしてください。

3. 「Caption」ボックスはそのままにしておいてください。
4. 「速報受信時にメールを送信する」をチェックします。
5. EqWatch を再起動します。再起動後から、メール送信ができるようになります。
6. EqWatch の訓練機能を使って、事前に動作チェックすることをお勧めします。